



上野原市

第 9 号

発行者 上野原市議会議長

尾形 正已

編集 上野原市議会だより

編集委員会

平成19年4月25日発行

議会だより

もくじ

議長あいさつ・
市長あいさつ …… 2P

議案審議 …… 3～5P

委員会報告
予算特別委員会報告
…………… 6～9P

一般質問 … 10～14P

広域行政 …… 15P

議会日程・市民の声・
あとのき …… 16P



名所 月見ヶ池

議長就任の あいさつ



新議長
尾形 正巳



新副議長
長田 助成

この度、二月二十二日
改選後始めての第一回臨
時議会において、議員各
位の温かいご推挙をいた
だき、上野原市議会第四
代議長に就任することに
なりました。

心より厚くお礼申し上
げます。

この重責を遂行するた
めには議員各位並びに市
当局、さらには関係する
皆様の温かいご支援を心
からお願ひするものであ
ります。

これから先輩議員のご
指導と同僚議員のご協力
をいただき、中立公正、
一生懸命この重責を全う
する所存であります。

今地方財政は国から地
方への税源移譲を一括で
行う「三位一体の改革」
により更に厳しい状況が
続くものと考えられ、ま
た、市立病院の医師不足

につきまして市民の健
康を守るためのものでは
り、早急に対応を講じな
ければならないものであ
ります。

また、情報通信基盤整
備の問題や、少子高齢
化、環境問題など、今後
より一層知恵を絞り効率
よい地方行政のあり方に

ついて検討していかなく
ればなりません。

これからは議会と行政
がより力を合わせ、この
ような問題を解決してい
かなければならないと確
信しております。

そのため議長としての
使命は重く皆様の期待に
こたえるよう努力する所

存であります。

議員各位、更に市当局
のご支援ご協力を賜りな
がら目標達成に向かい傾
注してまいります所存であ
りますので、皆様方の変
わらぬご支援、ご協力を心
からお願ひ申し上げます。
就任のあいさつとし

市長 あいさつ



市長
奈良 明彦

近年地方行政を取り巻
く情勢は大きく変化し、
地方分権が推進される中、
少子高齢化、人口減少と
いう時代に対応し、市民
が安心して暮らすことが
できる仕組みづくりを進
め、次世代を担う子供た
ちが希望を持ち、育つ事
のできる活力あるまちづ
くりを実現するため、全

力に対応しなければなら
ないと考えます。

新年度は、新市発足三
年目を迎えることから、
合併の効果が発揮できる
よう、地方分権の受け皿
に努め、中長期的な視野
にたった財政運営を推進
してまいります。

平成十九年度の予算編
成に当っては、事務事業

の見直し、組織・機構の
効率化に努め、財政健全
化に向け歳出全般にわた
り抑制と配分の重点化、
効率化を行いました。

また、厳しい財政状況
の中で、本来の上野原市
の財政規模に応じた行政
基盤の仕組みづくりに取
り組むため、私をはじめ
職員自らの人件費を削

上野原市民憲章

私たち上野原市民は、ふるさとを愛し、次の世代
に希望と誇りを引き継ぐため、ここに市民憲章を定
めます。

- 1 からだをきたえ、健康で明るいまちをつくります。
- 1 たすけあい、安心して暮らせるまちをつくります。
- 1 教養を高め、文化が息づくまちをつくります。
- 1 楽しく働き、活気にあふれるまちをつくります。
- 1 自然を大切にし、きれいなまちをつくります。

減し、職員一丸となつて、
真に必要な行政サービス
を極め、財政の健全化に
努めてまいります。

市民の皆様方からは、
生活基盤の整備、健康福祉
の充実、教育文化の整備
など様々な分野で施策の
充実を強く望まれている

中、とりわけ市立病院の
問題についてご心配をいた
だいております。

市としても市立病院建
設検討審議会の答申を受

けて、運営方法及び建設
計画における市の方針を
発表し、医師確保に向け、
対策本部を設置し、市の
最重要課題として重点的
に取り組んで参ります。

今後一層厳しい社会情
勢が予想されるところで
すが、この上野原市を安
心、安全の市としていく
ため、議員各位並びに市
民の皆様のご理解とご協
力を心からお願ひ申し上
げます。

委員会構成は次のとおりです

◎委員長 ○副委員長

文教厚生常任委員会



総務常任委員会



議会運営委員会



建設経済常任委員会



第1回臨時議会

議 員 会

会 長 尾形 重寅
副会長 奈良田文夫

正されたことにより、常任委員会の再編と、各常任委員会及び議会運営委員会の委員の定数変更と、条例の一部改正

二、発議第一号

市議会だよりの発行に関する条例の一部改正
編集委員の定数変更と、条例の一部改正

発議第一・二号の提出者・賛成者

提出者 久島博道議員

賛成者 鷹取偉一議員

賛成者 杉本友榮議員

賛成者 和田正人議員

その他の案件

(当 選)

一、山梨県東部広域連合議会議員選挙

小笠原俊将・服部光雄

関戸将夫・久島博道

杉本公文各議員

二、東部地域広域水道企業団議会議員選挙

尾形重寅・岡部幸喜

鷹取偉一・尾形幸昭

杉本征男各議員

三、山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

関戸将夫議員

発 議

(可 決)

一、発議第一号

市議会委員会の条例の一部を改正する条例制定

議員定数が二十人に改

平成十九年第一回定例会

平成十九年度一般会計予算百五億四千八十二万円に決定

(10.8% 減額)

(千円以下切捨て)

平成十九年第一回定例会は三月十二日から二十八日までの十七日間の日程で開催され、十八年度一般会計・特別会計補正予算の他、十九年度一般会計・特別会計予算・条例制定など、五十八件の内三十八件が、各委員会に付託され、審議されました。

その結果、全議案は可決承認されました。

*平成十八年度一般会計・特別会計補正予算

*十九年度一般会計・特別会計補正予算

*条例制定・その他の案件

別に請陳一件・動議一件・発議四件が審議されました。

十七件
十九件
二十二件

平成十八年度補正予算

(全て可決)

一、議案第十五号

平成十八年度上野原市一般会計補正予算(第六号)

歳入歳出三億七千六百

三十一万円を減額し、総

額予算百十八億七千二百

九十五万円とする

総務費

一億九千六十八万円減

額(退職手当負担金一億

七百七十五万円・情報通

信基盤整備事業費二億九

千五百四十四万円減額他)

民生費

一億七千七百十四万円

減額(老人保険特別会計

繰入金三千万円減額・生

活保護扶養費二千八百九

万円減額・知的障害者施

衛生費

六百八十七万円(東部

地域広域水道企業団出資

金二千二百五十八万円減

額・簡易水道事業特別会

計繰入金千三十二万円減

額・病院事業会計繰入金

七千三百八十万円他)

労働費

二百十七万円減額

(職業訓練施設整備費補

助金償還金百七十四万円

減額他)

農林水産業費

九万円減額(用排水施

設整備事業負担金五十二

万円減額・林業機械設置

補助金二百十万円他)

商工費

業立地促進事業

一千三百二十万円(企

業立地促進事業一千四百

七十五万円・八重山整備

事業八十四万円減額他)

議会費

二百九十四万円減額

(議員報酬百九十万円減

額他)

土木費

一千二百四十一万円減

額(公共下水道事業受諾

工事費三百五十二万円減

額・公共下水道事業特別

会計繰入金四百九十五万

円減額他)

消防費

二百六十四万円減額

(貯水槽建設費九十三万

諸支出金

一千八百五十八万円

(公共施設整備基金積立

金一千七百五十九万円

他)

二、議案第十六号

平成十八年度上野原市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第三号)

歳入歳出三千七百八十

六万円を減額し、歳入歳

出予算総額二十八億六千

六十六万円

三、議案第十七号

平成十八年度上野原市国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第二号)

歳入歳出二百八万円を

追加し、歳入歳出予算総

額一億九千九十八万円

四、議案第十八号

平成十八年度上野原市老人保険特別会計補正予算

(第二号)

五、議案第十九号

平成十八年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出一億一千七百

五十一万円を減額し、歳

入歳出予算総額二十五億

四十三万円

六、議案第二十号

平成十八年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出三千七百八十

六万円を減額し、歳入歳出

予算総額二百十万円

七、議案第二十一号

平成十八年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第三号)

歳入歳出二千二百四十

七万円を減額し、歳入歳

出予算総額八億六千四百

八、議案第二十二号

平成十八年度上野原市簡易水道事業特別会計補正

予算(第二号)

予算(第四号)

歳入歳出三百九十四万円を追加し、歳入歳出予算総額一億二千五十万円

九、議案第二十二号

平成十八年度上野原市教育奨励資金特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出三十八万円を減額し、歳入歳出予算総額二百六十万円

十、議案第二十四号

平成十八年度上野原市温泉事業特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出三十八万円を追加し、歳入歳出予算総額二億三千九十九万円

十一、議案第二十五号

平成十八年度上野原市蔵財産区特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算総額一億三千百二十八万円(八千円の少額補正)

十二、議案第二十六号

平成十八年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第二号)

十三、議案第二十七号

平成十八年度上野原市上

野原財産区特別会計補正予算(第三号)

二十二万円を減額し、歳入歳出予算総額三千三百八十一万円

十四、議案第二十八号

平成十八年度上野原市榎尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第二号)

十五、議案第二十九号

平成十八年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第二号)

議案第二十六・二十八・二十九号は、(歳出項目の調整)

十六、議案第三十号

平成十八年度上野原市病院事業会計補正予算(第二号)

収益的収入・支出の予定額を五百万円追加し、収益的収入・支出総額二十億六千七百八十一万円(医業収益減・繰入金増)

資本的収入・支出を六百万円減額し、資本的収入総額五千四百二十七万円・資本的支出総額七

千九百七十五万円(起業債減・建設改良費減)

十七、議案第五十八号

平成十八年度上野原市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第四号)

一般被保険者療養給付費一千七百五十八万円を返還(予備費)

その他の案件(可決・同意)

一、議案第五十六号

山梨県東部広域連合規約の変更

地方自治法の一部改正で、収入役を会計管理者、吏員を職員に改める

二、議案第五十七号

損害賠償の額を定める

三、議案第五十九号

上野原市教育委員会委員の任命の同意

を参照してください。

請願

一、請陳第二号

医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書の提出を求める請願

請願者 栗村勇幸 紹介議員 久島博道

*文教厚生常任委員会の報告を参照してください。

発議

一、発議第三号(可決)

市議会議員の旅費の特例に関する条例制定

提出者 久島博道議員 賛成者 鷹取偉一議員

賛成者 杉本友栄議員

上野原市旅費等に関する条例が制定されたことに伴い、議会としても経費節減の姿勢を示すため同様の条例を制定する必要がある。

二、発議第四号

賛成者 鷹取偉一議員

賛成者 杉本友栄議員

平成十九年四月一日からの組織変更および地方自治法の改正に伴い、条例の一部を改正する必要がある。

三、発議第五号

市議会会議規則及び市議会傍聴規則の一部を改正する規則制定

提出者 久島博道議員 賛成者 鷹取偉一議員

賛成者 杉本友栄議員

議員定数が二十名に減少したことおよび地方自治法の改正に伴い、規則の一部を改正する必要がある。

四、発議第六号

医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書案の提出について

提出者 鷹取偉一議員 賛成者 関戸将夫議員

賛成者 杉本友栄議員

病院の医師不足は深刻な状況で、医療充実は急務となっている。

については医師不足解消に向け積極的に国に働きかける必要がある。

動議(可決)

一、病院問題検討特別委員会の設置について

提出者 鷹取偉一議員 賛成者 久島博道議員

賛成者 杉本友栄議員

市立病院は医師不足で地域の中核病院としての機能維持が困難な状況である。

議会として病院問題を緊急に検討していく必要がある。

委員長 久島博道 副委員長 奈良田文夫

委員 杉本友栄・長田助成 鷹取偉一・服部光雄

岡部幸喜・尾形重寅 小笠原俊将・和田正人

総務常任委員会の報告

委員長 久島 博道

総務常任委員会は閉会中の三月十四日、午前九時から議員全員協議会室に全委員が出席し、付託された条例制定九件、規約改正三件及び「上野原市民憲章制定」と「第一次上野原市長期総合計画基本構想の制定」の合計十四件を審査しました。

一、議案第二号
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定

主な改正点
①収入役制度の廃止
②助役の職務を副市長に
③財務及び会計を一般職の会計管理者が処理
④「市吏員」「その他の職員」「事務吏員」「技術吏員」を一律「市職員」とする。

二、議案第三号

上野原市副市長の定数を定める条例制定

三、議案第四号

上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定

四、議案第五号

上野原市旅費等の特例に関する条例制定

五、議案第六号

医師確保のための上野原市職員特殊勤務手当の特例に関する条例制定

民間病院との給与格差

是正のため市立病院医師の特殊勤務手当支給限度額を二十五万円上げる。

六、議案第八号

上野原市行政組織条例の一部を改正する条例制定

秋山支所以外の七支所

を出張所にして臨時職員を充てるなど組織機構の見直しを図る。

七、議案第九号

上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定

①「勤務時間を八時三〇分から五時三〇分」

②「休息時間を廃止、休憩時間は原則一時間」

④「育児、看護を行う早出遅出勤務」と「男性職員の育児休暇」の新設

八、議案第十号

「上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定」

九、議案第十一号

上野原市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例制定

特殊勤務手当は四項目を除いて廃止

十、議案第五十一号

上野原市民憲章制定

十一、議案第五十二号

第一次上野原市長期総合計画基本構想の制定

平成十九年度からの十年計画で策定

十二、議案第五十三号

組合組織の見直し及び東山梨行政事務組合が消防職員及び消防団員の賞

じゅつ金の支給事務の共

同処理に加入することに伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更にに関する協議

十三、議案第五十四号

山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更にに関する協議

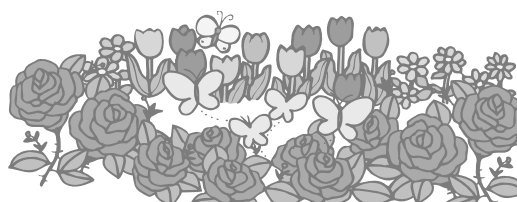
十四、議案第五十五号

山梨県市町村自治センター規約の変更にに関する協議

以上が当委員会に付託

されました十四議案の審査内容です。

いずれの議案についても全委員異議なく可決すべきものと決しました。



文教厚生常任委員会の報告

委員長 鷹取 偉一

第一次上野原市長期総合計画基本構想の制定にあたり総合開発審議会から提出された答申書に添えられた要望事項

- ①少子高齢化社会に突入し、本市の将来人口の推計では大幅な減少が予測されますが、計画に記載されている施策を着実に推進し、目標人口の達成に努めること。
- ②市民が安心して生活を送るためにも、特に医療の問題に対しては一日も早く方向性を示し、早急に施策を講ずるよう努めること。
- ③安心して子どもを出産し、育てられる環境を整備するために、市民の求めるニーズを的確に把握し、保育所・幼稚園の規模及び配置の適正化も視野に入れ、保育サービスの充実など高い水準の福祉都市の実現に努めること。
- ④高齢者が安心して住み続けることができる社会を形成するため、心身の健康や、生活における社会的・経済的な安定が確保されるよう、総合的な施策の推進に努めること。
- ⑤市の内外に情報を積極的に発信し、交流人口並びに定住人口の増加に努めること。
- ⑥社会資本の整備など、財政負担が大きい施策については、必要性、効果、実現性などに関する十分な検討を図り、慎重に推進するよう努めること。
- ⑦優良企業の上野原・東京西工業団地への早期誘致や、新たな自主財源の確保など、財政強化の方策を検討し、計画を実施するための財源の確保に努めること。
- ⑧財政見通しを踏まえて実施計画を策定し、重点を置いて取り組むべき施策を早期に明らかにして、着実な推進に努めること

当委員会は、議会開会

中の三月十五日、議員全員協議会室に委員全員が出席し、付託案件の二案件と、所管事項である市立小中学校適正規模・適

正配置の現状についての説明を求めました。

一、請陳第一号

医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書の提出を求める請願

平成十六年四月から実施されている臨床研修制度の影響により地域の医



文教厚生常任委員会の審査風景

市立厳中学運動場夜間照明施設において、グラウンド開放利用時に、利用者が軟式野球の打球を隣接する住宅に打ち込み屋根を損傷させ、雨漏りに至った物損事故です。付託された二案件は、全員一致で可決・採択すべきものと決しました。

平成十九年度以降の適正規模・適正配置の教育方針は、平和・巖・島田・秋山中学・小学校全体・

療機関からの医師の引き上げ、公的病院等での医師の過酷な勤務実態や地域医療機関の経営状況の悪化、女性医師の増加に対応する仕事と子育ての両立支援策が十分に講じていないことなど様々な原因が作用し医師不足が生じていることから、医師不足解消に向け、国においても積極的な取り組みを行い安心できる地域医療体制を確保することに関係諸機関へ意見書を提出するものです。

本市においても深刻な問題で、地域医療サービスの充実は急務であり、文教厚生常任委員会で、市立病院の充実を急務と考え、議会に病院特別委員会の設置を要望します。

二、議案第五十号
損害賠償の額を定める

教育長・教育委員会
会教育課・学校教育課の職員の出席を求め審査いたしました。

市立幼稚園は、審議会に諮問し答申を受けて行なう旨の説明があり、現在実施している桐原・西原中学の進行状況は、桐原区民の理解が得られ、平

建設経済常任委員会の報告

委員長 杉本友栄

成二十年四月一日上野原中学に統合、西原地区は毎月一回の説明会を実施し保護者の方々に理解して頂けるよう努めているとのことです。

建設経済常任委員会は会期中の三月十六日午前十時から議員全員協議会室において委員全員が出席して、付託された議案四件について、建設経済部長以下担当職員の出席を求め審査しました。

案件の減少や、近隣市との定数状況を踏まえて、定数を改めるものです。

一、議案第七号
上野原市農業委員会の選挙による委員の定数条例制定

二、議案第十一号
上野原市土地改良事業及び山梨県営土地改良事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例制定

地方交付税や国庫補助金等の削減により、市の行財政の適正化と組織の効率化を図るため、農業委員会の活動状況、農用地の面積、農家戸数、農地法の規定に基づく申請

鳥獣害防除事業の受益者分担金につきまして、近隣市町村との均衡を考慮し、農業従事者の公平を図るため、徴収分担金の額を定める条例を改正するものです。

いずれの議案についても、委員全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて所管事項の調査として、桂川清流センターを視察しました。現地にお

の一部を改正する条例制定
東部地域広域水道企業団給水条例が制定されたことに伴い、下水道使用料金の算定事務及び委託事務者の名称変更をする条例を定めるものです。

四、議案第十四号
上野原市道路占用料徴収条例及び上野原市法定外公共物の管理、占用及び採取に関する条例の一部を改正する条例制定

自転車等の駐輪場を整備するにあたり、道路法施行令の一部改正する政令に伴い、条例を改めるものです。

今後、上野原市を含め五市町の普及拡大により、桂川流域下水道施設の維持管理は重要になるため、安定した施設運営を要望しました。



桂川清流センターの視察

予算特別委員会報告

委員長 尾形 重寅

本定例会において付託された、平成十九年度上野原市一般会計予算、各特別会計予算、及び病院事業会計予算、合わせて十九件について三日間、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

一般会計予算

歳入歳出それぞれ、百五億四千七百八十二万六千円となり、前年度比、十二億七千二百八十万五千円、率にして十・八%の減額となります。

〔歳入〕
自主財源は四十五億四千四百八十一万七千円で、全体の四十三・一%となります。

主なものは、市税が三十六億九百七十八万三千円と、前年度比、十一・五%の増額となります。また、繰入金は三億七千二百四十四万三千円、六十七・六%の減額となります。

依存財源は、六十億三

百九千円、全体の五十六・九%となります。

〔歳出〕
主なものでは、税源移譲により、地方譲与税が一億二千九百三十五万三千円六十一・二%、地方交付税が二十七億八千五百二十二万七千九百三十三円、市債が十三億八千七百四十万三千四百六十六円と、それぞれ昨年度より減額となります。

市債については、予算規模を縮減した結果、借り入れ分より、償還元金分が多くなりました。

歳入の不足分は、財政調整基金や、公債費償還分として減債管理基金の繰り入れなどにより収支の均衡を図っています。

目的別に見てみますと、主なもので、総務費が、十八億一千二百七十九千二百三十三・九%、衛生費が十五億二千三百九十九千四百十六・七%、教育費が八億七千八百七十九万九千四百十六・〇%と、それぞれ前年度より減額

となります。

特別会計予算

国民健康保険特別会計（事業勘定）をはじめ十七会計で、歳入歳出それぞれ、八十三億六千三百六十二万二千円と、前年度比、二億八千二百二十万九千円にして三・五%の増額となります。

温泉事業特別会計が指定管理者制度に移行しなくなりましたが、国民健康保険特別会計（事業勘定）が二十九億六千三万五千円と、前年度比、四億六千三百七十七万九千円にして十八・五%の増額となります。

病院事業会計は、常勤医師の不足により、病院事業収益が、十九億五千七百六十三万一千円と、前年度に比べ一億一千九百七十七万五千円の減額となります。

〔質疑〕
各課別の審査及び最終日の総括質疑の中では、将来の財政運営の見

通し、合併特例債の使いみち、自主財源確保の方策、補助金や委託業務の精査、子育て支援・障害者支援の充実、医療費の抑制策、産業及び観光の振興策、市道や下水道などの基盤整備、学校の安全対策及び統合問題や社会教育の推進、市立病院の医師不足の対策と建替え問題などの内容について質疑がありました。

まとめ

自主財源の確保のために市税等の徴収について積極的な取り組みを求めます。

また、工業団地への企業誘致については、市の人口や住民税の増加につながる方策を検討する必要があります。

歳出の削減に向け、職員の定員管理や業務内容の検討などがさらに必要となります。

また、各種の少子高齢化対策の積極的な取り組みを求めます。

一方、市立病院の問題

については、市当局、市議会、市民が一体となり英知を結集して取り組み、一日も早く解決できるように最大限の努力が必要となります。

以上のことから、市当局におかれては、行財政改革を一層推進し、国の三位一体の改革に伴う厳しい財政状況の中にあつて、市民のための市政となるよう、今回の委員会での意見等を、今後の行財政運営に十分反映されるよう要望しました。

討

論

平成十九年度一般会計予算については賛成者十五名、反対者四名です。

反対討論者

小笠原俊将

杉本 公文

市川 順

賛成討論者

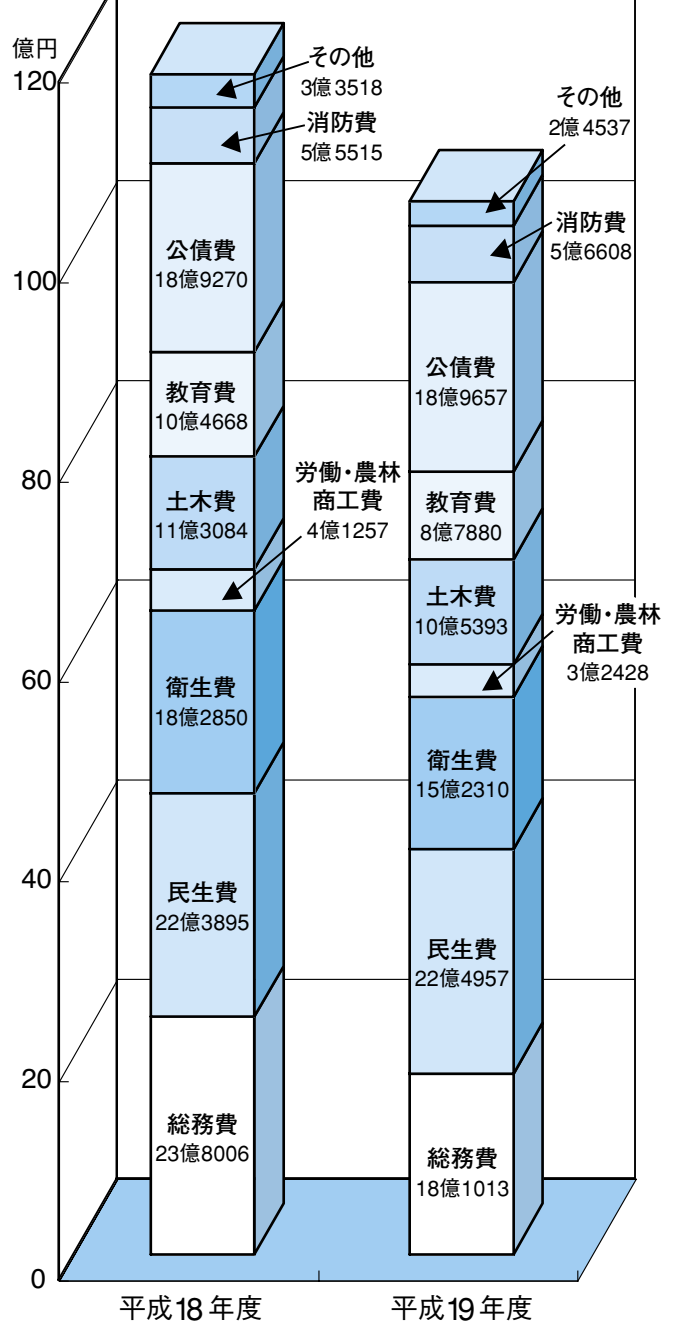
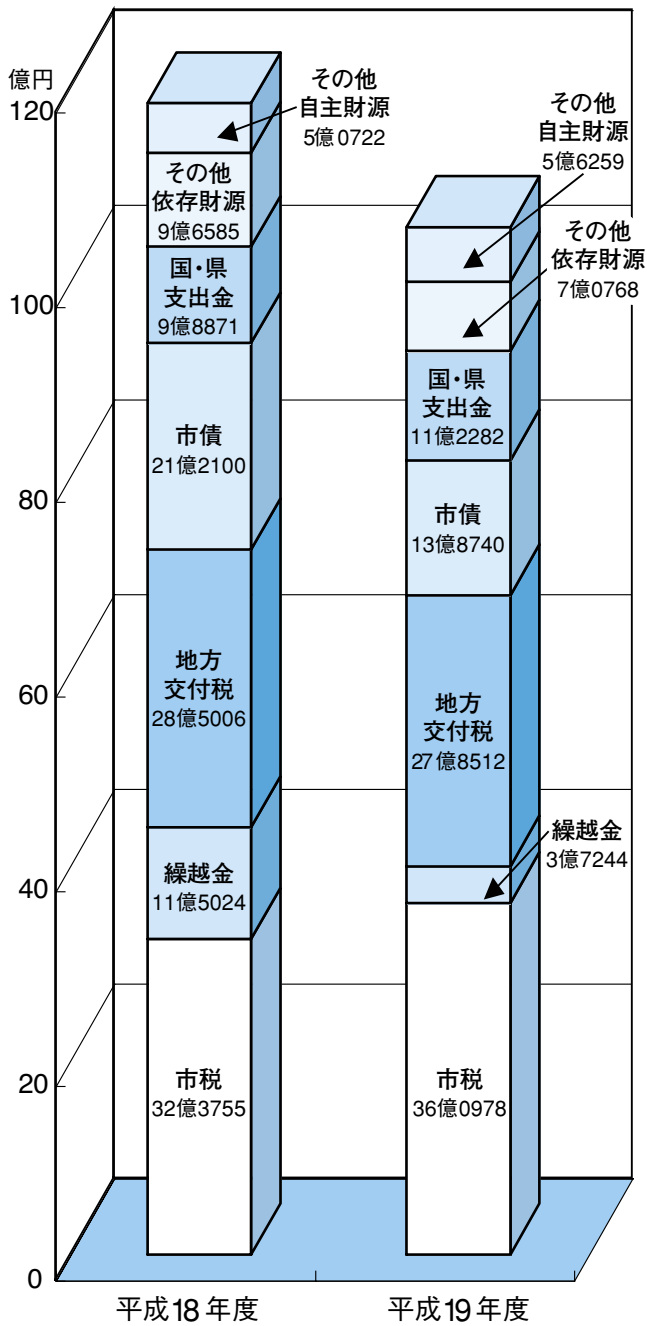
久島 博道

関戸 将夫

杉本 友栄

一般会計歳入予算のすがた

一般会計歳出予算のすがた



歳入

総額 平成18年度 **118億2063**万円
 平成19年度 **105億4783**万円

歳出

総額 平成18年度 **118億2063**万円
 平成19年度 **105億4783**万円

平成19年度 主な新規事業

事業名	内容等	予算額
交通安全対策費	四方津駅前駐輪場整備	12,000,000円
農業振興費	被覆施設建設事業補助金「やさい村」	2,250,000円
市道ハツ沢大柵線交差点改良事業	市道ハツ沢大柵線交差点改良事業	160,105,000円
救急車購入費	高規格救急車購入費(秋山出張所)	35,142,000円

病院建設について



杉本公文議員

一、市長の政治姿勢は

公約は守るべきと考えるのか否か。

【市長】

公約したら必ず実行し、出来ない公約は致さないのが信条です。

【再質問】

初めての町長選で上野原耕地整理組合の町への移管は私以外には出来ないと言ひ、後に、旧上野原中跡地に病院建設地は決まっていると、チラシで市

民に約束したが。

【市長】

病院を建設していく姿勢はあります。

医師研修制度により減った医師を確保し、健全な運営をしなければ建設は出来ませんし、審議会の答申を尊重します。

【再質問】

新市建設計画で、旧秋山村と西部トンネル建設整備に向け「推進協議会の設置」を主な事業計画として明記しているが。

【市長】

国と県の支援が望めないと言う事なので、この事業は実施しないと決定しております。

【要望】

秋山地区住民には種々騙されたと言う意見もあるが、難度の高い事業でも設置の約束は約束で守

るべきである。

二、合併特例債について

住民の要望を反映した特例債の使途だと言うのが合併時の住民調査結果で大多数の市民は医療と病院の整備を望んでいる。

なぜ病院建設に特例債を使わないのか。

【総務部長】

適用範囲が殆ど無く、厳しいことと認識しております。

三、市内利便地に病院が必要なのは分かっていて

。後は庁舎と同様、市長の政治決断であり審議会に諮問し、この五年間何をしていたのか、市長の責任は大きい。

今後、二年間検討し、

五年を目途に建設すると

言うが、この五年間で何人が亡くなったたり市民が不便をするのか。

【市長】

病院を建設するにしても、健全な運営と医師確保を考え合わせながら行います。

四、十八年度、光ファイバー敷設工事入札は二件

とも落札金額が十円単位まで同額で、くじ引き落札された。こんな事が罷り通る市で良いのか。競争入

札を実施すべきだ。

【総務部長】

市も一般競争入札に動く方向、その状況の中で改善されると思います。

仲間川の流出土砂

問題について



市川 順議員

一、予算の執行順序について

一部議員が行った市民の意識調査結果でも病院の医療の充実が一番高く、光ファイバーの事業は低い。市として再検討を。

【総務部長】

光ファイバー基盤事業は現在継続事業で市民にご理解頂くようお願いしている。住民要望及び議会による予算変更要望は極力取り入れてます。

【要望】

費用対効果などのリスクを回避する上でも、経営陣に、NTTに入ってもらうのが得策である。

是非検討をお願いします。

二、仲間川の土砂流出問題について

四十万立米（ダンプ八万台相当）残土が崩落し、仲間川を埋めている。

残土中に含まれる有害物質、ホウ素、フッ素が環境基準をオーバー、電気伝導率も数十倍から数百倍

（大柵地内比較）また、内分泌かく乱物質（フッ素系化合物等）も懸念されるが。

【市長】

市条例を守れない中で不当な投棄が続き、このような事態となりました。

土砂の特定が困難である。対策は県東部森林環境部が行っております。フッ素系等の化合物の微量有害分析、など、環境リスクが判断できる人材確保、迅速測定器導入など視野に有害土砂持込ませない方法を検討していきます。

三、環境問題と対策について

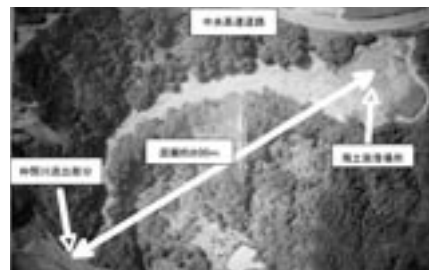
光化学オキシダント警報が夏季に度々出て、その頻度は日本でも有数。住民に対する対策処置及び発生源対策処置どのよう

【市民部長】

に実施しているか。

【市民部長】

昨年の警報は十二回、県の指示事項に基づき防



仲間川の土砂流出箇所

災無線等により注意を行って
います。

発生源対策については、
県の広域環境対策の指導
の中で検討していきます。

四、病院建設について

上野原市内に安心して
住める環境の第一は、緊急
医療が出来て、入院も親
族のいる上野原地域内に
ある『総合病院』三百床以

上』が何より重要である。
広域医療圏を視野に検討
すべきである。

【福祉保健部長】

広域医療圏を考慮する
と市民の要望する三百床
以上の総合病院規模は理
解でき、医療の充実は都
留、大月、上野原の広域
医療圏を視野に三市連携
で進めていきます。

**やさい村の
販売促進**



尾形幸召議員

一、談合坂SAやさい村の
拡充を

①十八年七月から十九年

二月までの売上高は

【建設経済部長】

八ヶ月間の売上合計額
は三千五百四万二千元
で、一ヶ月当たり約四百
四十万円、一戸当たり五
万五千円です。

特に夏場から秋にかけ
ては商品供給量が多く高
い売り上げです。

課題は、冬期の対策が

不十分で、市としては今
後、被覆設備対策を考え
て支援します。

②生産者会員数は

【建設経済部長】

現在の生産団体は十団
体七十八名の会員です。
上野原市新鮮野菜の会
登録者を中心に組織の拡
大を図っております。

③固定式店舗の建設は

【建設経済部長】

市としては中日本
エクシスと交渉はしてお



談合坂SA(上り)のやさい村

り、十八年度の売上実績
を考慮、十九年度採算性
と事業の効果を検証した
後、計画について検討し
ます。

店舗面積の要望は六〇
平方メートルです。

【意見】

安心安全な野菜は生産
者の努めです。

冬期は販売員も健康管
理に注意し、生産者も売
上にアイデアを出して協
力しています。

目標に挑戦している高
齢者は健康・介護・老
人・介護サービス等の保
険医療費の削減に協力し

てます。

二、市立病院の医師招請
状況はどうか

【市長】

医療制度の改定に伴う
医師不足には、市として
も全力を挙げて医師獲得
に取り組みます。

【病院事務長】

現在、内科五名の常
勤医師と交渉しており、
三ヶ月以内の就職を、目
指しています。

非常勤医師は内科・外
科医を若干名確保、当直
医も目処が立ちつつあり
ます。

**情報通信基盤整備
事業について**



小笠原俊将議員

一、情報通信基盤整備事
業について

①昨年十二月に発注をし
た光ファイバーの敷設工事
について確か工期は三月と
聞いていますが、これを延
長するとしています。これ
までなのか、原因はどこ
にあるのか

【総務部長】

②光ファイバー利用につい
てUBCとの契約はどう
なっているか。

【総務部長】

IRU契約ですが電柱
利用が確定してないので
契約はしていません。

③市は金額について、電
柱の利用料・移転の経費
などとしているが、市の
所有となる財産について
自治法の規定がある、こ
れらも入れて契約すべき
である。

【総務部長】

市が利用している地域
イントラネットも含めて



各家庭に設置される機器収納ボックス

U B Cに負担してもらおうようにしています。

④今年一月十四日と二十一日に市は「情報通信基盤整備事業」についてチラシの新聞折り込みがあったが、これは選挙の日程に合わせた市の介入であり、やるべきでない。

【総務部長】

情報通信基盤整備事業の誤解をなくす為に入れた訳で選挙への介入など考えていません。

二、市立病院について

①医師不足の原因はどこにあると考えていますか。

【病院事務長】

平成十六年に実施された医師の研修制度の変更が医師不足をまねく大きな原因となり大病院への派遣医師の引き上げがはじまり今日の事態をまねいていると思います。

【意見】

医師の不足については今の政府が長年取り続けている構造改革に原因があります。国に対して要求をすべきです。



上野原・東京西工業団地

②病院の建設についての問題で、市当局の計画では五年以内に新病院の建設をすることになっている。五年と言わずもっと早く建設すべきである。

周産期医療を含め、市

自主財源確保



服部光雄議員

一、市の財政

①自主財源

十年前から「地方分権が進めば交付税が減らされ、その分、自主財源中心にならざるを得なくなる」と指摘してきた。今その通りになっている

直営の病院建設をすべきと考えるがどうか。

【福祉保健部長】

自治体だけでは困難で、建設については五年としては検討致します。

が施策はあるのか。

【総務部長】

定住人口や流入人口の増、企業の育成などが必要で、そのために子育て支援を始めとした福祉の充実、社会基盤の充実が必要になります。

②行政改革

人事問題は職員の心、モラルに関わるものであり、今回の五十八歳一律早期退職の実施や、各担当毎の一律人員削減措置には大変心配している。

【総務部長】

以前からのご指摘どおり職員の成果や業績を給

料や地位に反映することによって職員の「やる気」が引き出され、市民サービスの向上につながります。

③選択と集中

小・中学校の経費が一律何%という形で削減されているように見える。

【総務部長】

今後必要な事態となれば協議していきます。

二、市の事業

①公共下水道事業

公共下水道区域の縮小を主張してきたが、当初の計画よりどれ位縮小され、今後さらに区域の縮小はできるのか。

【建設経済部長】

当初計画より、十三・八%縮減している他、今後さらに二十・一%縮減する計画です。

②し尿処理施設

希釈するだけで流域下水に流せるよう県と強く交渉すべきだ。

【市民部長】

希釈し下水道に放流する方法を今後県と交渉を

進めていきます。

三、病院建設

市の対応はあまりにも遅かった。そんななか、審議会の結論は市民の心情を考慮していない。

【福祉保健部長】

遅きに失したことは返す言葉もありませんが、医師不足の問題や医療環境の激変する中に

あつてはその見定めをする必要があります。

四、情報通信基盤整備事業

市民の反対意見がこれほどの問題になった以上、市もこれを承認した議会もあらためて市民に説明し、理解と納得を求め責任があるのではないか。

【市長】

今後いつでも出席して説明に当たります。

病院問題・放課後子どもプラン他



久島博道議員

一、病院問題は医師の確保、新病院建設への対策と同時に、次の課題について伺います。

【病院事務長】

①市立病院の人工透析診療の受入可能な患者数と今後の対応は。

②広域で「病院を含めた三業務の共同化を図る」との共同声明と市独自の病院建設との整合性は。

【市長】

③専門知識を有した民間からの事務長職の採用は。

病院建設検討審議会の答申を受け、五年を目標に市独自の内科、外科、小児科など小規模で入院可

能な病院は確保し、それ以上に対応可能な病院は広域病院で対応したい。

また、事務長を補佐するアドバイザーを民間から採用して病院が抱える諸問題に対応していく。

二、放課後子どもプランは、文科省所管の「放課後子ども教室推進事業」と厚

労省所管の「放課後児童健全育成事業」を連携させた教育委員会主導の事業で放課後の児童の居場所づくりが目的である。

市の対応と学童保育未実施校での利用は可能か。

【社会教育課長】

現在、事業計画策定はしていませんが放課後子どもプランのニーズ調査、事業運営を検討するための運営協議会の設置などは他部局と連携し、可能な範囲で検討してまいります。

学童保育未実施校での放課後子ども教室推進事業の導入は、いくつかの課題もあり、地域特性の違いもある中で、他部局と連

携して検討していきます。

三、地域情報化の基本指針・基本計画の策定、

UBCと交わすIRU契約および経営計画の内容を公表するとの議会答弁を以前頂いていますが進捗状況は。

【総務部長】

地域情報化の基本指針・基本計画については、十九年中の策定に向けて実施中です。

電柱の使用未承諾がIRU契約等に影響しており、議会に対して直接UBCから経営計画等の説明の場を設けたい。

アンテナを立てればTV視聴も可能な首都圏でもケーブルTVへの加



設置された病院対策課

入が在る理由は、安全・安心な生活上の市民向け

長期総合計画の具現化



山口好昭議員

サービスが支持されている事であると思えます。

一、長期総合計画の具現化

①本年の四月よりスタートする、長期総合計画は、平成二十八年を目標年度として幾つかの重要な施策が掲げられております。

決意と考え方、重点的に取り組む施策、その施策効果によって人口増はどのように想定しますか。

【総務部長】

予算・政策は、優先順位を決定して行うことが望ましく、六つの政策を掲げるが、医療問題、病院建設は一時他の事業をストップしてでも行う決意で最優先して行う必要があります。人口はさまざまな施策効果を見込んで三万名を想定します。

②三位一体の改革により、国県よりの財源が厳しい

二、八重山周辺対策事業の実施計画、運営計画、利用入込数について。

【建設経済部長】

十八年から三年間にいこい、学習の場、観光拠点として、休憩所、展望台、駐車場、洗面所、遊歩道を整備し、将来は観光協会、ボランティア、指定管理者で管理を視野に入込客は四万名を想定しています。

【要望】

①観光振興は従来の点や線から面へ拡大し、八重山五感の森と長寿の里桐原をセットで市の観光拠点に指定し、パンフレット等でPRする。

特に八重山に隣接する軍刀利神社、聖武連の観光資源を活かす、現在、



八重山入口

学校の統合は？



長田喜巳夫議員

一、市立病院の医師の確保と建設について

医師の確保と建設は、同時に取り組むことが必

聖武連橋（市道）は通行止につき担当部署は調査の上、改修を要する。

②市では、緊急の最重要課題として病院対策課を新設して、医師確保や病院建設を取り組むが、より早く、病院建設の青写真をたて公表することが市民に安心感を与え医師確保にも好影響をもたらす。速やかに取り組むことを要望する。



西原診療所

要。医師不足の要因にどう取り組んできたか。

【病院事務長】

山梨大学医学部や他大
学、開業医への派遣要請
を行ってきました。

【意見】

県と国に働きかけ、対
策をとるよう要請すべ
きである。

【再質問】

四月以降の西原診療所
の再診開始は。

【病院事務長】

常勤医二名となるが、
現状の医療体制は維持で
きる。西原診療所は、医
師確保ができた第再診療
します。患者は市立病院
まで送迎しています。

【要望】

安全、安心が確保でき
医療機器、勤務環境の充
実している病院には医療
スタッフは集まる。中長期
的な経営改善計画を策定
し、早期に病院建設を図
るべきである。

二、学校の統廃合について
(西原中と上野原中)

西原区長会で統合につい
てアンケート調査を実施
し、この結果、意見等を
どう受け止めたか。

【教育長】

反対は多いが、適正規
模、適正配置から平成二
十年四月一日実施に向け
努力していきます。

【再質問】

反対意見は、県道整備
ができてない、地域が衰
退する、若い人が住まな
くなる等である。

保護者の意見、要望等
を真摯に受け止め、きめ
細かな対応が必要である。

地域づくりと学校との
関係を、どう捉えている
のか。

【学校教育課長】

富士・東部建設事務所
長は、道路は整備すると
言っています。

【教育長】

適正規模、適正配置、
人間づくりという前提で
進めています。

【再質問】

地域づくりと学校との
関係は表裏一体である。

住みたくなる魅力的な
地域を創ることが行政の
任務であるが、今後どの
ように進めていくか。

【学校教育課長】

保護者の合意を得るこ
とが先決です。

【市長】

教育委員会方針を尊重
し地域の人に説明、理解
の上で進めます。

【要望】

保護者、地域住民の合
意を得る中で、進めてい
くべきである。



医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書

近年、全国的に、特に小児科や産婦人科などにおける医師不足が深刻な問題となっている。地域住民が安心して生活するためには、救急医療や産婦人科・小児科医療など必要な医療サービスがいつでも利用できることが重要であり、こうした医師不足問題の解消は喫緊の課題である。

このような医師不足は、1) 平成16年4月から実施されている臨床研修制度により大学医局の医師派遣機能が低下し、地域の医療機関からの医師の引き上げが生じていること、2) 公的病院等での医師の過酷な勤務実態、地域の医療機関の経営状況の悪化などが生じていること、3) 女性医師の増加に対応する仕事と子育ての両立支援策が十分に講じられていないことなど様々な原因が複合的に作用して生じている。

医師不足の解消に向け、医療機関の集約化や、魅力ある研修病院の整備、病院間連携体制の整備、小児救急での電話相談窓口の整備など様々な努力を進めているが、安心できる地域医療体制の整備に向けて国においても引き続き積極的な取り組みを進める必要がある。また医師不足のみでなく看護師や助産師の不足も同様に近年重要な課題となっている。

以上のことから、政府におかれましては、医師不足を解消し、安心できる地域医療体制を確保できるよう、下記の事項について要望します。

記

- 1.地域医療の再構築に向けて、総合的なビジョンを早急に策定すること
 - 2.救急医療体制の整備・維持、周産期医療体制の整備・維持のための支援策の拡充を図ること
 - 3.小児科医療等の医師不足が指摘される科目の診療報酬の抜本的な見直しを図ること
 - 4.公的病院の診療体制の強化を図るため集約化への取り組みの支援策を拡充すること、また中核病院と地域医療機関の連携を強化するための対策を講じること
 - 5.臨床研修制度のあり方について検討を行い、前期・後期臨床研修において、地域医療への従事が適切に確保できるよう取り組みを進めること
 - 6.医科系大学の定員における地域枠の拡大を図るとともに、奨学金制度の充実など地元への定着を進めるための施策の充実を図ること
 - 7.院内保育の確保や、女性医師バンクの充実など女性医師の仕事と生活の両立を図るための支援策を充実すること
 - 8.看護師、助産師の不足に対して積極的な対策を講じること
 - 9.小児救急の電話相談事業の充実のための対策を講じること
 - 10.出産・分娩に係る無過失補償制度の早期の創設を図ること
- 以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成19年3月28日

山梨県上野原市議会

衆議院議長	河野洋平	殿
参議院議長	扇千景	殿
内閣総理大臣	安倍晋三	殿
厚生労働大臣	柳澤伯夫	殿
総務大臣	菅義偉	殿
文部科学大臣	伊吹文明	殿

広域行政

東部広域連合

二月二十六日、山梨県東部広域連合の二月定例議会が都留市の連合事務所議場において開催されました。

小林義光連合長（都留市長）から、本年は広域行政を推進する上で大きな課題である消防の広域化について県から基本方針などが示され、それを踏まえ連合としても、的確かつ迅速な対応を考えている。

いずれにしても、構成市村の厳しい財政状況を勘案し、共同出資される事業事務の効率的で効果的な運営に、なお一層、努めるので、議員各位の指導と協力を願いたいとの挨拶がありました。

議事にあつては、条例改正が四件と、補正予算一件、当初予算案一件の

計六件が提案・審議され、いずれも原案の通り可決・承認されました。

条例改正は、「連合職員給与条例」、「連合職員の勤務時間、休暇等に関する条例」、「連合特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例」、「連合事務所設置に関する条例」の改正案であり、それぞれ、「人事院勧告に伴う扶養手当の改正」、「職員の早出遅出勤務制度の拡大を図るもの」と「地方自治法の改正により字句の削除」及び「事務局設置条例の字句の訂正」によるもので、以上の四件です。

補正予算（第二号）は歳入、歳出の総額、二億一千四百三十四万六千円に増減はなく、各項目を変更したものです。

平成十九年度一般会計当初予算は、歳入、歳出

それぞれ二億六百四十九万三千円と定め、前年比、五百七十三万円の減額で主なものは職員一名の減員によるものです。

当市関係では平成十九年度、上野原市負担金が、一千二百六万二千五百十六円と確定しました。（人事案件）

副議長に久島博道議員が、議会運営委員に服部光雄議員がそれぞれ選任されました。

水道企業団

東部地域広域水道企業団の平成十九年度第一回定例会が、企業長（上野原市長）・大月市長および担当市議会議員十名が出席して三月六日開催され、三議案を上げ、審議可決しました。

一、議案第一号
平成十八年度水道企業団会計補正予算（第二号）

受入資金の既決予定額を四千四百八十七万八千円減額し、三十七億九千七百六十八万円とし支払資金を七千六百四十一万六千円減額し三十三億五千三百九十九万四千円とする。主な減額は繰越金・事業費の削減です。

二、議案第二号
平成十九年度水道企業団事業会計予算

受入資金を三十四億八千二百八十四万三千円、支払資金を三十億八千九百四十四万四千円とし、ともに、前年比八・三％・

八・一％の減額予算となりました。

三、議案第三号
監査委員の選任同意について
和田正人議員が選任されました。

（企業長あいさつ）
平成十八年度から一部供用開始をめざし事業を推進して参りましたが、特定広域化施設整備事業の進捗率は十八年度末で八十三％に達します。

（人事案件）
副議長に尾形重寅議員が選出されました。

昨年四月より大月・上野原両市の上水道事業が統合し、新たな企業団として



桑久保送水ポンプ場

1月～3月 議会活動

1月

- 5日 上野原市新年互礼会
- 7日 上野原市消防初出式
- 10日 上野原市区長会新年互礼会
- 11日 上野原市商工会新年互礼会
- 12日 議会だより編集委員会
- 19日 議会だより編集委員会
- 21日 市議会議員選挙
- 31日 議会だより編集委員会

2月

- 1日 母子寡婦協議会新年会(議長)
- 9日 身体障害者連合福祉会新年互礼会
- 16日 市議会議長会議員合同研修会 都留市
- 22日 第1回臨時会
- 26日 東部広域連合議会
- 28日 北都留森林組合通常総会(副議長)

3月

- 3日 第1回福祉大会(議長)
- 5日 議会運営委員会
- 6日 水道企業団議会
- 12～28日 第1回定例会
- 14日 総務常任委員会
- 15日 文教厚生常任委員会
- 16日 建設経済常任委員会
- 19～22日 予算特別委員会
- 23日 市政一般に関する質問(8名)
- 24日 桐原地区戦没者慰霊祭

“市民の声”募集中

編集委員会では住民の皆様
の生のお声を聞き、市民
が参加する議会だよりを目指
しています。

(五百字以内)

宛先

上野原市上野原三八三二番地
市議会だより編集委員会



新編集委員

記録的な暖冬の中、議員選挙が行われ、議員の顔ぶれも大きく変わり、新鮮な議会となりました。

議会の構成が総務常任委員会(七人)・文教厚生常任委員会(七人)・建設経済常任委員会(六人)と三委員会に、議会運営委員会・編集委員会の人數も、八人から六人と少数になりました。

前編集委員の中で残った委員は一人で、委員長を始め新編集委員は誠に未熟です。

しかし、全力でより読み易い、「議会だより」の作成に努めます。

編集委員長 鷹取 偉一
副委員長 尾形 幸一
委員 長田 助成
委員 杉本 征男
委員 田中 英明
委員 市川 順

印刷/上野原市
カヤヌマ印刷 上野原三七七八
(0554)6310188

あとがき